

対ジンバブエ共和国 事業展開計画

2023年 4月 現在

基本方針 (大目標)	持続的な経済成長及び社会経済の変革に向けた支援
---------------	-------------------------

重点分野 1 (中目標)	南部アフリカ地域経済への円滑な統合														
開発課題 1-1 (小目標) 同国と周辺国を結ぶ流通の円滑化や回廊インフラの整備等の推進	【現状と課題】 ジンバブエでは、2017年11月に就任したムナンガグワ大統領の下、経済改革が進められているものの、2019年には前回のハイパーインフレ時（2008年）以来の高いインフレ率を記録するなど、依然として国内経済の混乱が続いている。また、同国政府の財政は引き続き厳しい状態であるため、インフラの整備・維持管理が困難な状況である。南部アフリカ地域の経済統合の取組が進められている中、同地域の地理的中心に位置するジンバブエにおけるインフラ整備の停滞は、同国の持続可能な開発を阻害しているだけでなく、南部アフリカ全体の円滑な発展をも阻害しており、インフラ整備による連結性の向上等による経済的繁栄の追求が求められる。					【開発課題への対応方針】 南部アフリカを中心に位置するジンバブエの国境や地域を越えた連結性を向上させ、ジンバブエ経済を南部アフリカ地域経済に円滑に統合させることを主目的とし、同国と周辺地域を結ぶ流通の円滑化や回廊インフラ及び電カインフラの整備の取組を支援する。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考		
					2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度					
		TICADVフォローアップの一つである質の高い回廊インフラ整備に資する支援を行う。	南北回廊北部区間道路改修計画	無償	■							22.88	8,9,11,16		
			第二次南北回廊北部区間道路改修計画(詳細設計)	無償	■	■						0.97	8,9,11,16		
			第二次南北回廊北部区間道路改修計画	無償			■	■	■				23.89	8,9,11,16	
			南北回廊における円滑なOSBP運営管理能力強化プロジェクト	技プロ		■	■	■					6.05	8,9,11,16,17	広域案件(ザンビア、ジンバブエ、ボツワナ)
			道路維持管理	国別研修		■	■							8,9,11,16	
	南部アフリカパワーブール促進のための広域連携強化プロジェクト		技プロ			■	■	■	■			3.06	7,9,17	広域案件(ジンバブエ、ザンビアなど12ヶ国)	
	マラウイ国及びジンバブエ国における電力セクターに係る情報収集・確認調査		基礎情報調査			■							7,9,17	マラウイ・ジンバブエ対象	

重点分野2 (中目標)	豊富な各種資源の有効活用												
開発課題2-1 (小目標) 各種資源の有効活用のための産業支援	【現状と課題】 ジンバブエは、金、クロム鉱、プラチナなどの多くの鉱物資源に恵まれているほか、世界有数の観光地であるビクトリアの滝などの観光資源、トウモロコシ、小麦、さらには果物・野菜等の換金作物の作付に適した広大な台地や肥沃な土壌、高い教育レベルの人的資源を豊富に有している。しかしながら、同国は、不安定な通貨制度、深刻な電力不足、気候変動に伴う干ばつ等の自然災害といった経済を停滞させる要因を恒常的に抱えるとともに、効率的かつ適切な行政運営のために必要な知識やスキルをもつ人材が不足していること等から豊富な資源を有効活用することができない状況にあり、人材育成や産業振興の基礎となる環境の整備が必要である。					【開発課題への対応方針】 ジンバブエの豊富な資源が適切かつ有効に活用されて経済発展につながるよう、各種研修制度の活用や専門家を活用した技術支援等により、産業強化に資する人材育成とともに、農業・農村振興、観光分野の振興等を支援する。また、農業振興を後押しするためのインフラ整備に向けた支援も行う。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	農業支援プログラム	高いポテンシャルを有する農業資源を有効活用するため、灌漑整備及び市場志向型農業の促進等を支援する。	市場志向型農業振興プロジェクト(ZIM-SHEP)	技プロ	2022年度以前	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	4.07	1,2,5,6,8,12	
			農業分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.20	1,2,5,6,8,12	
			農業分野の課題別研修	課題別研修他								1,2,5,8,10	
	人的資源育成プログラム	高い教育レベルを有する人的資源を有効活用するため、留学制度、課題別研修、海外協力隊による支援を行う。	ABEイニシアティブ/SDGsグローバルリーダー/資源国の行政・研究人材育成 食料安全保障のための農学ネットワーク(Agri-Net)/道路アセットマネジメント	課題別研修他							3.00	1,2,5,6,8,12	
			産業人材育成分野のJICA海外協力隊	JOCV									
			職業訓練分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.07	1,2,5,6,8,12	
	観光資源活用プログラム	豊富な観光資源を有効活用するため、観光開発・観光業振興を支援する。	コミュニティ・ベース・ツーリズム開発にかかる促進支援及びマーケティング支援	個別専門家								8	
			観光分野のJICA海外協力隊	JOCV									

重点分野3 (中目標)	脆弱な人々の人間の安全保障の確保及び社会開発支援												
開発課題3-1 (小目標) 脆弱な人々を対象とした、保健、教育、食糧安全保障、災害等に関する支援	【現状と課題】 ジンバブエでは、2000年以降の政治・経済の混乱や、近年頻発する干ばつやサイクロンといった自然災害による農業や生活基盤に対する打撃などにより国民の生活水準は悪化しており、適切な保健医療サービスや教育へのアクセス確保、必要な食料糧の確保等が困難となっている人々が多く存在している。また、女性は社会的に弱い立場にあり、ジェンダー不平等に基づく女性の人権や安全、教育や健康の促進などが脅かされている。持続可能な開発を達成するためには、これら脆弱な立場にある人々が取り残されることなく経済・社会的利益を享受できるような、健全かつ平等な社会が構成される必要がある。			【開発課題への対応方針】 深刻な食料不足に対応するための食糧支援を重点的に行うとともに、同国の中長期的な保健医療サービス及びシステムの強化に向けた人材育成や機材供与、安全な水へのアクセス向上や衛生環境の改善に向けた支援を行う。教育環境の整備やジェンダー問題への取組として、人材育成や施設整備支援を推進する。ジンバブエ・モザンビーク国境付近の地域住民の生活に大きな脅威となっている地雷の除去に対する支援を継続的に行う。健全かつ平等な社会の実現に向け、ジンバブエが推進するガバナンス改革・改善努力に資する支援を行う。									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
					2022 年度 以前	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度			
		保健医療・水衛生サービス強化プログラム	日本型品質管理手法による医療セクターにかかる質向上(5S及びKAIZEN活動)	個別専門家								3	
			5S-Kaizen TQM手法による質向上	国別研修								3	
			5S-Kaizen-TQM手法による医療サービスの質向上プロジェクト	技プロ							4.62	3	
			財務管理アドバイザー	個別専門家								6.9	
			経済社会開発計画(保健・医療機材供与)	無償							7.00	3,11,16	保健・医療分野
			医療分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.03	3,11,16	
			国際機関等経由の保健医療に関する支援	マルチ							1.03	3,4,5,16	WHO,UNOPS補正予算
		教育環境整備支援プログラム	教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.30	4,16	
			教育・スポーツ・青少年育成分野のJICA海外協力隊	JOCV									
			ミッドランド州ゴクウェ・ノース地区における教育環境の包括改善事業	日本NGO							1.70	4,16	
			西マシヨナランドニヤミニヤミ地区における住民参加型学校開発事業	日本NGO							2.36	4,16	
		食料安全保障、災害支援プログラム	食糧援助(WFP)	緊急無償							0.50	1,2,13	世界食糧計画(WFP)
	国際機関等経由の食料安全保障に関する支援		マルチ							0.97	1,2,13	WFP補正予算	
	経済社会開発計画(肥料供与)		無償							6.50	1,2,13		

開発課題3-1 (小目標) 脆弱な人々を対象 とした、保健、教 育、食糧安全保 障、災害等に関す る支援	その他	国際機関等経由のジェンダーに関する支援	マルチ							1.30	3,5	UNFPA, UNWOMEN 補正予算	
		地雷除去の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							1.42	11,16		
		ODAアドバイザー	個別専門家									17	
		選挙支援計画(UNDP連携)	マルチ							2.00	10	UNDP	

【凡例】 「協定」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「基礎情報調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(＝課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」(＝JICA海外協力隊)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(＝途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「実線「――」」(＝実施期間)、「破線「- - -」」(＝実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf